



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町
5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2021年3月会報 第387号

主題・標語

国際会長(IP) Jacob Kristensen(デンマーク)

主題 「価値観、リーダーシップ、エクステンション」 「VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP

スローガン 「命の川を信じよう」

アジア太平洋地域会長(AP) David Lua (シンガポール)

主題 「変化をもたらそう」 Make a difference

スローガン 「奮い立たせよう」

西日本区理事(RD) 古田裕和(京都トウビー)

主題 Let's do it now!

スローガン “2022 に向け誇りを持って All is well.”

六甲部長 安行英文(さんだ)

主題 行動に信念を、信念は行動に Believe in what you do. Do what you believe in.

宝塚クラブ会長 若林成幸

主題 ポジティブに考え、ポジティブに生きる Think and live, positive.

今月のテーマ : JWF (西日本ワイズ基金)

JWF は皆さまの厚意によって支えられています。
個人やクラブの記念に合わせて献金をお願いいたします。

JWF 管理委員長 西野陽一 (大阪高槻)

2021年3月例会

日時 : 2021年3月10日(水)18:30
場所 : 宝塚市立西公民館(ZOOM可)
会費 : 500円
ドライバー 郡家学 長尾 亘

開会点鐘 若林成幸 会長
ワイズソング 全員
聖書朗読 杉谷和代
祈 禱 石田由美子
ゲスト・ビジター紹介 若林成幸会長

会食 (ありません)

お話し (ZOOM)

中山迅一さん (神戸ポートワイズ)
「学ぶ気持ちを地域で学ぶ」

YMCA報告

誕生日のお祝い 若林成幸会長

ニコニコファンド

閉会点鐘 若林成幸会長

2020~2021

役員

会長 若林 成幸 直前会長 多胡 葉子
副会長 福田 宏子
書記 武田 寿子
会計 小林 康男 堀江 裕一
会計監査 加藤 光信 吉田 明
連絡主事 谷川 尚
メネット連絡 福田素子 今田 和子
六甲部地域奉仕・環境 多胡 葉子

3月
誕生日

福田素子(2日)
吉田 明 (4日)
加藤光信(12日)
郡家 学(20日)

2
月
実
績

例会出席者数 30名(6ズーム)
在籍会員数 22名
出席会員数 15名(3ズーム)
出席率 77.2%
メイクアップ(内数) 2名
メネット・コメット・孫メット 3名(1ズーム)

ゲスト・ビジター 10名(6ズーム)
例会充足率 136.3%

にこにこBOX 5,000円
累計 22,500円
ファンド(物品販売) 0円
累計 19,900円

聖句

「主に結ばれているならば自分たちの苦勞が決して無駄にならないことを、あなたがたは知っているはずです。」

(コリントの信徒への手紙(1) 15:58b)

随想

昨年の10月頃、職場の方が「今朝のNHK朝ドラで讚美歌が流れていましたよ。とても感動しました」と話してくれました。聞くと、キリスト者という設定のお母さんが、空襲で焼け落ちてしまった自宅跡にたたずんで、静かに讚美歌を歌うというものでした。

その放映は大きな反響があったそうですが、朝ドラを見る習慣のないわたしは、そんなこともあるのかと思っただけでした。しかしその後、ドラマ制作で考証を担当したあるキリスト教学校の先生がそのときの経緯を書いておられる記事を見ました。

記事によると、当初そのシーンの台本は全く違っており、戦争の焼け跡にたたずんで、「戦争のこんちくしょう」と悔しさから焦土をたたき続けるというものだったそうです。

ところが配役の女優さん自身からこの讚美歌(「うるわしの白百合」)を静かに歌う方がいいのではないかと提案があり、それを聞いて感銘を受けた制作陣が急遽台本を変更し、放映されたシーンになったそうです。

この先生が女優さん(薬師丸ひろ子さん)に、「どうしてこの讚美歌をご存じだったのですか？」と聞くと、自分は通っていた学校がキリスト教系で、礼拝で何度も歌って大好きだったからです、とのお答えだったそうです。彼女のプロフィールをみると、確かにあるキリスト教系大学の文学部英米文学科卒と出ていました。

戦争の悲惨に対する悲しみや怒りは、直接表現するよりも、静かに讚美歌を歌う方がかえって人々の心に届くのだと、彼女は直感的に思ったのでしょうか。人によっては、センチメンタルな朝ドラレベルの感性だと思うかも知れません。しかし、彼女のこの直感は、現実を神のまなざしの元で受け止めるという体験、つまり「礼拝」の体験から来ているのではないかと思いました。

彼女自身はキリスト者ではないと思いますが、例えば学校の礼拝で繰り返し語られていたであろう、平和を求めるメッセージを彼女なりの仕方で感じ取っていたのではないのでしょうか。それが長い時を経て、表現者としての彼女の仕事の中で現れたのです。

当時の教育に携わっておられた方々が聞いたら、きっと喜ばれたことでしょう。

キリスト教学校やYMCAなど、教会以外の一般社会の中でCに関わる働きに労苦している人々にとって「エール(応援)」になるエピソードだと思いました。

金田俊朗

会長雑感

2月になってコロナの猛威も減少傾向を示し、関西は緊急事態解除の前倒しを決めた。今後の重傷病床の逼迫、変異種の拡散といった不安要素を考えると基本的な感染防止行動は続けなければならない。4月中旬のワクチン接種が始まって、当分は感染予防を見据えた新しい日常への模索が続く。とりわけコロナに負けない健康づくりへの注意が必要だろう。

私の健康の秘訣は「歩くこと」だ。昨秋来、3月20日の「宝塚学検定試験」初級合格と健康維持の一石二鳥を企んで「宝塚文化財散歩マップ」の全ルート歩いた。その他にも甲山周辺や芦屋ロックガーデンなどの山歩きを合わせると、10月7.5万歩、11月8.2万歩、12月8.3万歩、1月21万歩、2月15万歩 合計60万歩(約420Km)、JR大阪駅から熱海駅辺りまでのキロ程になった。訪れた神社仏閣28箇所、古墳7箇所、歴史的建造物4箇所などであった。宝塚市に住んで40年になるが宝塚の魅力を再発見したという思いだ。月10万歩達成でニコニコ献金1,000円や「歩く新幹線 de 日本一周2765Km」も決めている。

最近、「本当はこわくない新型コロナウイルス」(大阪市大名誉教授 井上正康著)を読んだ。最新の科学情報から得た知見をもとに日本のコロナ対応の現状を批判した内容だが、新型コロナが日本や東アジアの民族には「感染力が少し強い風のウイルス」であり「リスクの高い高齢者や入院患者などを集中的にケアすれば有効に対処できる」と断じ、更に、マスコミの過剰報道やそれによって生じた恐怖感や同調圧力に耐える健全な社会の有り様に言及している。コロナ発生から1年を経過し、世界中の科学情報から見えるコロナの実像に興味が増してくる。

さて、ワイズの2020年度も後半に差しかかり年間行事の大半を終えた。コロナ渦中に活動が停滞したクラブが沢山あったことを考えると我がクラブは比較的上手くことを運んだと言えよう。計画の一つひとつに方法論を語り合い着地点を共有した努力の積み重ねであり、それぞれの開拓物語があったように思う。結果良ければ全てよしというが、良い途中経過があるからこそ良い結果が生まれたというべきだろう。そしてクラブのメン、メネットをはじめ我々をサポートして下さった仲間があったこと、彼らの心意気に大いに励まされたことに感謝したい。残す4ヶ月も次期に繋ぐ意義ある時間として備えたいと思う。

【 3月ゲスト・プロフィール 】

認定NPO法人まなびと 理事長 中山 迅一

1984年神戸生まれ。甲陽学院中高を卒業後、京都大学文学部に進学。在学中にタイを訪れたことをきっかけに、教育の道を志し、29歳で「NPO法人まなびと」を設立。既存の教育機関の外側にある「ちいき」で、人と人が学び合える場づくりを進めている。現在の事業としては学童保育や日本語教室を運営している。



2月例会報告

2月10日(水)18時から1月第1例会を行った。この日は、「SDGs」連続講座の最終回であったが、コロナ緊急事態宣言が延長されたため Zoom 講座に切换え、関学大 湊秋作教授による「わたしもやってみよう SDGs～自然で」をワークショップスタイルで行った。先生からは、甲山周辺の自然環境を生かした「自然ミュージアム構想」を具体化するアイデアを出し合うことが求められたが、グループ討議ができなかったので各人の考えを出すことになった。講座の後に纏めてみると下記のアイデアが揃い、先生に報告した。



通算 4 回の講座を通じて SDGsを理解し市民レベルでも行動に結びつけていくことの意義を学ぶことが出来たと思う。湊秋作先生をはじめ講座に登

場していただいたゼミ学生・研究者の協力に感謝を伝えたい。

また、この日、スクリーンには、名古屋、鹿児島など他クラブの面々やバンコックワイズの Wichian 氏の顔があり、Wichian 氏からバンコック事情を報告していただいたことも加わって交流の広がりを実感することができた。

「甲山周辺、自然ミュージアム構想のアイデア」

1. 若林成幸

- ①上ヶ原古墳・大坂城石垣石丁場跡・五ヶ山古墳群を巡る
- ②門戸厄神・神呪寺・鷲林寺を巡る
- ③仁川地すべり資料館・甲山・逆瀬川から六甲山東部の地勢を学ぶ

2. 丸茂 幸

- ①仁川下流まで降りてくるイノシシの行動ルートを調べる
- ②五ヶ池周辺の水中生物を調べる
- ③農業用水の水路を辿って動・植物の生態を調査する
- ④甲山森林公園の動・植物を調べる

3. 青柳美知子

- ①五ヶ池・仁川広河原周辺の整備
- ②仁川溪谷付近の散策道の整備



若林成幸

元国際会長 ウィッチィアン ブーンマパジョンさんのスピーチ

宝塚ワイズの皆様にお目にかかれ、例会に出席でき大変うれしく思います。



タイの Covid 19 も第 2 回目の緊急宣言が行われており、先月のワイズの例会は Zoom で行いましたが、少し落ち着いてきたので、今月はお昼の例会を通常どおりする予定です。

ワイズの活動はチェンマイ、チェンライ YMCA が日本の YMCA の協力を得て以前から支援を行っている若竹寮のサポート、西村さんが中心になって山間部で、栽培し、ワイズのネットワークを通して国際的に販売しているコーヒー豆の販売などで、またバングラデッシュ、ミャンマー、ラオスなどから逃れてくる移住労働者や、教育が受けられない子供たちの支援など従来から YMCA と協力して行っています。

会員増強は国際的な奉仕団体、ロータリーやライオンズクラブなども同様ですが、若い世代はどこかに所属することを好ましく思っていない傾向があり、次世代への継承はかなり困難です。こうやってネットを通してなつかしい皆様にお目にかかれ、クラブ例会に参加できることを光栄に思います。またおめにかかりましょう！

翻訳 武田寿子

2 月第2例会報告

1. 日 時: 2021.2.17(水) 13~15 時
2. 場 所: 西公民館セミナー室
3. 出席者: 若林、小林、郡家、多胡、石田、吉田、鯖尻、長尾、今田、橋本、山崎往夫(ゲスト)
堀江 zoom、福田宏子 zoom



4. 議 事

1. 今後の例会について

3 月 10 日(水) 18:30~(緊急事態解除を前提に通常運営・食事付き) 会費: 1,000 円

西公民館セミナー室、講師: 中山迅一氏(神戸ポート)「学ぶ気持ちを地域で育む」Zoom 利用

4 月例会、5 月例会の卓話講師として、福田 旭氏(関学中教諭・宗教主事)、矢部ミサ氏(西谷地区での真菰茶の普及活動)が候補にあがり、それぞれにつき交渉を進めることとした。

2/19 現在、交渉の結果、4 月例会 矢部ミサ氏、5 月例会 福田 旭氏で決定した。

2. 地域サービスプログラム

日 時 : 3月6日(土) 午後2時~4時、

場 所 : はんしん自立の家、むこにゃん広場で東北支援凧揚げ

講演会 講師: 古居 みずえ氏、フラチーム出演

共 催 : はんしん自立の家、宝塚クラブ。協力: 武庫川がっこう、宝塚 NPO センター、
協賛金として 宝塚クラブから 10,000 円を支出

3. 各種献金・YMCA サポート

①西日本区主任事業献金

(Y サ、CS、BF)は目標額の 100%を、(TOF、YES、RBM)は目標額の 50%、合計 139,700 円を年会費から支出することを承認した。

②YMCA サポート

- ・神戸 YMCA 国際協力募金 50,000 円、予算計上の通りの支出を承認した。
- ・Amazon「みんなで応援」プログラムを覚え、後日提示される西宮 YMCA の要請に協力する。
- ・3/3 実施の日本語スピーチコンテスト協賛金 5,000 円の支出を承認、Zoom 視聴に協力する。
- ・西日本区理事提案の「ミャンマーの新設ワイズメンズクラブ支援クラブ募集」を協議したが、支援方法として「クラブ単独で、他クラブと連携して、六甲部で」等の方法があることを共有し、継続して検討することとした。

4. 次回市民クリスマスの会場予約

After Corona を見据えて実施の可否につき意見交換。取りあえず会場予約(候補日:12/10, 12/17)を進めることとした。

5. 西日本区「クラブ活性化資金交付申請書(第2次)」について

第2回目の交付申請が届いたが、当クラブは辞退することを承認した。

6. その他

- ・西日本区次期会長・主査研修会 3月6日(土)13時から Zoom にて、福田宏子・若林が参加
- ・六甲部次期会長・主査連絡会 3月8日(月)Zoom にて、福田宏子・若林が参加
- ・神戸 YMCA 総主事・六甲部会長懇談会 3月19日(金)Zoom にて、若林が参加
- ・六甲部第2回評議会 3月28日(日)14時 Zoom にて、4人以上(出来るだけ沢山参加)
- ・宝塚市 NGO 連絡協議会、3月の NGO 活動展は中止、代わりに NGO 活動紹介の小冊子を発行。

書記代 若林成幸

第21回日本 Y MCA 大会に ZOOM 参加



2年に一度東山荘で開催される日本 YMCA 大会が今年はコロナ禍のためにオンライン発信となり、YMCA 関係者に呼びかけがなされた。神戸 Y MCA の理事をしていた時には何度か参加していた大会でもある。今大会は2月23日(祝)に第一部は午後2時から YouTube によるライブ配信、第二部を午後5時から Web 会議システム Zoom による方式であった。広く募集されていたので参加させていただいた。

第一部は青山学院大学名誉教授関田寛雄氏(93歳)による基調講演。そして注目の Y MCA 活動として大日本韓国、藤沢、富山、奈良、東山壮、熊本大学、鹿児島を取り組みを紹介と東日本大震災後の YMCA の取り組

み、ミャンマーで起こっている政権混乱による YMCA の状況、などに関しての情報が語られた。そして閉会礼拝を中道神戸 YMCA 理事長が担当された。

第二部は全国から約190人の参加者を5～6人ずつのグループに分け ZOOM によるグループディスカッションが2回に分け開催された。私は第一回は大阪 Y, 三重 Y から二人、東京 Y インターナショナルからの参加者グループに、第二回目には大阪 Y から二人、福岡 Y, 神戸 Y, のグループで自己紹介から始まり、それぞれ所属の YMCA 活動や思いなどの数々を話し合う時間であった。コロナ禍で活動が十分にできない状況の下でもそれぞれの YM CA は状況に応じて活動をされている様子を知ることができた。

今までの Zoom 参加と違って少人数によるグループディスカッションは新しい出会いの方々と

YMCA の活動の取り組みなどに関して知る機会になったことはとてもよかった。

この大会を通して多くの人とのつながりを実感することができとても有意義な大会への参加

だったと若いリーダーからの言葉は印象に残った。午後2時から6時半までの時間は長い時間にもかかわらず楽しい交わりのひとときが与えられた。

多胡葉子

他クラブ訪問

最近では ZOOM ミーティングを使うクラブができて宝塚クラブの例会も活用しています。

○2021 年 2 月 16 日、岡山クラブ例会



YMCA ピンクシャツデー協賛企画・オンライン講演会で例会が行われました。テーマは「ネット社会のこどものトラブル」で孫の環境によく似ていると考えながら聞きました。

○2021 年 2 月 20 日、第 32 回ハイブリッド阪和部会

中井信一阪和部部長の主題「寄り添う!! 忘れない!!」で仙台 YMCA お村井伸夫総主事の講演で「東日本大震災支援」のお話を聞きました。



○2021 年 2 月 24 日、神戸ポートクラブの ZOOM 例会

ピンクシャツの例会でもありました。気軽に参加させて頂きました。お話は神戸ポートのメンバーで仕事でカンボジアに行っておられる坂野一成さんの「カンボジアの来し方行く先、日本とのつながり」でした。正に ZOOM の良さです。宝塚クラブも ZOOM 例会を行いました。そして 2 月例会では元国際会長のウィッチャン氏に参加して頂き、タイでのコロナ禍の様子、ワイズの活動の熱いメッセージをいただきました。2 月も



ZOOM を通してのワイズ交流を深めています。

長尾 亘



YMCA ニュース

《神戸 YMCA ピンクシャツデー ワークショップ

いじめをなくすために ～いじめに大人がどう理解するのか～》

「いじめる」、「いじめられる」、という対立軸として捉えるのではなく、私たちの日常の生活の中に潜んでいるいじめにつながっていくものに大人が気づき、理解し、いじめの当事者にいかに関わっていくか、ワークショップを通して、ともに考えていきます。

ブレイクセッションによる小人数グループのワークショップとディスカッションを予定しています。

日 時:2021年3月20日(土・祝) 16:00～17:30

オンライン(ZOOM)にて開催

参加費:無料

ファシリテーター:矢野良晃氏(NPO 法人ふおーらいふ 副理事長・フリースクール ForLife 代表)

申込み:3月13日(土)18:00 まで参加申込フォームよりお申し込みください。

お申込みいただいた方に ZOOM 招待メールをお送りいたします。

●主催:ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部・公益財団法人神戸YMCA

●お問い合わせ:公益財団法人神戸YMCA本部事務局

TEL : 078-241-7201 Eメール : info@kobeymca.org



<https://00min/rcco1>

編集紀行コーナー

2 月には毎年バレンタインデーの月には女性メンバー花組から何時例会でチョコレートを貰います。男性メンバーは何時も楽しみです。今年も頂きましたが、コロナ禍で DBC の鹿児島クラブ、東京町田コスモスクラブには送れないと宝塚花組は残念がっていました。

ブリテン担当 長尾 亘



2020～21年度後期会費をお願いいたします。
会計 小林康男

(宝塚クラブ銀行口座)

銀行名 三菱 UFJ 銀行宝塚中山支店
口座番号 普通預金 4585836
口座名 宝塚ワイズメンズクラブ
(会計 小林康男)

2020-2021 宝塚ワイズメンズクラブ 事業・特別事業

事業委員		(委員長)		
	Y サ・ユース	福田 宏子	武田 寿子	
	地域・環境	多胡 葉子	風早 寿郎	青柳美知子
	EMC	鯖尻 佳子	若林 成幸	
	広報・ブリテン	長尾 亘	福家 清美	重松 えみり
	交流・ファンド	石田由美子	杉谷 和代	
特別		(委員長)		
事業委員	NGO 連絡協議会	鯖尻 佳子	福家 清美	堀江 裕一
	じゃがいも	小林 康男	吉田 明	風早寿郎
	市民クリスマス	多胡 葉子	長尾 亘	石田由美子
	〃		若林 成幸	